

2年		数学科		令和7年度 指導・評価規準			
月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法	
4	1章 式の計算 6時間	・単項式、多項式、次数の意味を理解する。 ・整式の加法、減法が計算できる。 ・単項式の乗法、除法が計算できる。	単項式や多項式の次数の計算 多項式どうしの加減の計算 多項式と数の乗除の計算	単項式や多項式の次数を求めることができる。 多項式どうしの加減の計算が正しくできる。 多項式と数の乗除の計算が正しくできる。	I I I	観点Ⅰ 知識・技能 ・定期考査	
	4章 平行と合同 3時間	・多角形の内角と外角を求めることができる。 ・多角形の内角の和や外角の和の性質を利用し、いろいろな角の大きさを求めることができる。	多角形の内角の和や外角の和の計算 多角形の内角の和や外角の和の性質を利用した角度の求め方	多角形の内角、外角の和を求めることができる。 多角形の内角の和や外角の和の性質を利用して角の大きさを求めることができる。	I I		
5	1章 式の計算 6時間	・単項式の乗法、除法が計算できる。 ・式の値を工夫して求めることができる。 ・文字式を使い、整数の性質が説明できる。 ・文字式を使い、図形の問題を解くことができる。	単項式どうしの乗法、除法の計算 単項式どうしの乗除の混じった計算 式の値の計算 整数の性質を文字を使った式の表現方法 整数の性質が一般的に成り立つ理由の説明 式の計算を利用した図形問題の説明	単項式の乗法、除法の計算が正しくできる。 単項式の乗除の混じった計算が正しくできる。 式の値を求めることができる。 整数の性質を文字を使った式で表現できる。 整数の性質が一般的に成り立つわけを具体例から見つけることができる。	I I I II III	観点Ⅱ 思考・判断・表現	
	4章 平行と合同 3時間	・対頂角、平行線の同位角・錯角を使い、角度を求めることができる。 ・平行線の性質がわかる。	対頂角や同位角、錯角の意味 対頂角や平行線の同位角・錯角を利用した角度の求め方	対頂角や同位角、錯角の違いを理解している。 対頂角、平行線の同位角・錯角を利用して角の大きさを求めることができる。	I II		
6	1章 式の計算 2時間	・等式をある文字について解く事ができる。	等式の変形	文字式を利用して、図形に関する問題を解くことができる。	II III		
	2章 連立方程式 4時間	・連立方程式の意味がわかる。 ・連立方程式を加減法で解く事ができる。	連立方程式の意味 連立方程式の解法（加減法）	連立方程式を解くことの意味を理解している。 加減法を用いて連立方程式を解くことができる。	I I		
	4章 平行と合同 3時間	・対頂角、平行線の同位角・錯角を使い、角度を求めることができる。 ・平行線の性質がわかる。 ・合同な図形の意味や性質を理解する。 ・合同な図形を見つけあてはまる合同条件を式で表せる。	対頂角や同位角、錯角の意味 対頂角や平行線の同位角・錯角を利用した角度の求め方 合同な図形の意味 合同な図形の表現	対頂角や同位角、錯角の違いを理解している。 対頂角、平行線の同位角・錯角を利用して角の大きさを求めることができる。 合同な図形の対応する角や辺が等しいことを、式に表すことができる。	I I II		
	2章 連立方程式 6時間	・連立方程式を代入法で解く事ができる。 ・連立方程式を問題に応じて適切に解くことができる。 ・具体的な文章問題から、連立方程式をつくることができる。	連立方程式の解法（代入法） かっこをつくむ連立方程式の解法 小数・分数係数をもつ連立方程式の解法 値段に関する文章問題を連立方程式を用いて解く 個数に関する文章問題を連立方程式を用いて解く	代入法を用いて連立方程式を解くことができる。 文章問題から得られた情報を使い、連立方程式をつくることができる。	I II		
9	4章 平行と合同 4時間	・三角形の合同条件を図形に合わせて使うことができる ・図形の中に合同な三角形を見だし、合同条件を用いて図形の長さや角が等しいことを示すことができる。	三角形の合同条件 三角形の合同条件の使い方 簡単な命題の仮定と結論	合同な図形を、記号≒で表すことができる。 三角形の合同条件を理解している。 三角形の合同条件の使い方を理解している。	I I I	観点Ⅲ 主体的に学習に取り組む態度 ・授業態度 ・定期考査	
	2章 連立方程式 6時間	・具体的な文章問題でつかった連立方程式を適当な方法で解く事ができる。	速さに関する文章問題を連立方程式を用いて解く 割合に関する文章問題を連立方程式を用いて解く	問題解決のためにつくった連立方程式を解き、その答を求めることができる。	II		
	3章 一次関数 2時間	・1次関数の意味を理解する。 ・1次関数の変化の割合の意味を理解し、それを求めることができる。	比例と1次関数の違い 1次関数の変化の割合	1次関数の意味を理解している。 1次関数の変化の割合を求めることができる。	I I		
	4章 平行と合同 3時間	・仮定から結論を導く証明のすすめ方について理解する。	簡単な命題の証明	簡単な命題の仮定と結論をいうことができる。 簡単な命題を、図形の性質を用いて証明することができる。	II III		
10	3章 一次関数 6時間	・1次関数の変化の割合の意味を理解し、それを求めることができる。 ・1次関数のグラフをかくことができる。 ・1次関数の変域の対応を調べることができる。	1次関数のグラフにおける傾きと切片 1次関数のグラフから、1次関数の式をつくる 1次関数のグラフにおけるxの変域とyの変域	切片や傾きを使い、グラフをかくことができる。 1次関数のグラフから式を求めることができる。 xの変域とyの変域の意味を理解している。	I I II		
	5章 三角形と四角形 4時間	・二辺二角の性質を理解し、それを利用して図形の性質を調べることができる。 ・定義、定理の違いを理解する。 ・二辺二角形になるための条件を理解し、図形の性質の説明に用いることができる。	二辺二角形の底角の性質や頂角の二等分線の性質 定義や定理の意味 二辺二角形になるための条件の使い方 命題の逆の意味	二辺二角形の底角の性質や頂角の二等分線の性質が言うことができる。 定義と定理の意味を理解している。 二辺二角形になる条件を言うことができる。 命題の逆を言うことができる。	II I I I		
	3章 一次関数 5時間	・あたえられた条件から1次関数を求めることができる。 ・ $ax+by+c=0$ の形の方程式のグラフをかくことができる。 ・1次関数のグラフを利用して、連立方程式の解を求めることができる。 ・グラフの交点の座標を、求めることができる。	条件をみたま1次関数を求め方 2元1次方程式と1次関数 $y=ax+b$ グラフを利用して連立方程式を解き方 グラフの交点の座標の求め方 身のまわりの事象を、それを1次関数とみて問題を解決することができることを理解している	グラフの傾きや切片がわかっている場合、1次関数の式を求めることができる。 2元1次方程式を1次関数とみる グラフを利用し連立方程式を解くことができる。 グラフの交点の座標を求めることができる。 身のまわりの事象を、それを1次関数とみなすことができる。	II I I I III		
11	5章 三角形と四角形 5時間	・定理の逆を理解し、真偽の判断ができる。 ・直角三角形の合同条件を理解し、直角三角形の合同を合同条件から判断することができる。 ・平行四辺形の性質を理解し、それを用いて図形の性質を証明することができる。	直角三角形の合同条件の使い方 平行四辺形の定義・性質	直角三角形の合同条件を言うことができ、証明に用いることができる。 平行四辺形の定義・性質を言うことができる。	I III		
	3章 一次関数 4時間	・身の回りの事象を1次関数で表すことができる。 ・1次関数を利用し、図形・ダイヤグラムの問題を解くことができる。 ・平行四辺形の性質を理解し、それを用いて図形の性質を証明することができる。	1次関数を利用して図形の辺上を動く点がつくる図形の面積の変化のようすや、ダイヤグラムを利用して乗り物の運転の様子をとらえることができる。 四角形が平行四辺形になるための条件の使い方	1次関数を利用して、図形問題やダイヤグラムなどの問題を解くことができる。 四角形が平行四辺形になるための条件を言うことができ、証明することができる。	II III II III		
1	1章 式の計算 4時間	・1章で習った計算と説明ができる。	1章の計算のまとめ問題を計算する。 整数の性質、図形問題の説明をする。	計算が正確にできる。 整数の性質が一般的に成り立つわけを具体例から見つけることができる。	I II		
	5章 三角形と四角形 5時間	・平行四辺形になるための条件を理解し、それを用いて、図形の性質を証明することができる。 ・平行線の性質を利用して、面積の等しい図形について調べることができる。	長方形、ひし形、正方形の定義と使い方 等積変形のやり方	長方形、ひし形、正方形の定義を言うことができる。 簡単な等積変形ができる。	I I III		
	6章 確率 1時間	・確率の意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる。	確率の意味と性質	確率の性質を理解している。	I		
2	2章 連立方程式 4時間	・2章で習った計算と文章題を解くことができる。	1章の計算のまとめ問題を計算する。 文章問題で、立式し解くことができる。	加減法、代入法を用いて連立方程式を解くことができる。 問題解決のためにつくった連立方程式を解き、その答を求めることができる。	I II		
	6章 確率 5時間	・場合の数を表や樹形図から求めるなどして、確率を計算することができる。	場合の数を利用した確率の求め方	場合の数をもとに確率を求めることができる。 問題に応じて、樹形図や表の使い分けができる。	I III		
3	3章 一次関数 3時間	・3章で習ったグラフをかくこと、条件から式を求めることができる。	1次関数のグラフにおける傾きと切片 条件をみたま1次関数を求め方	切片や傾きを使い、グラフをかくことができる。 グラフの傾きや切片がわかっている場合、1次関数の式を求めることができる。	I II		
	7章 データの比較 6時間	・四分位数や四分位範囲の意味を理解し、箱ひげ図に表すことができる。 ・箱ひげ図を用いてデータの傾向を比較して判断することができる。	四分位数の意味 四分位数や四分位範囲の求め方 箱ひげ図の書き方 箱ひげ図の利用	四分位数の意味を理解している。 四分位数や四分位範囲を求めることができる。 箱ひげ図をかくことができる。 箱ひげ図を利用してデータの傾向を判断することができる。	I I I III		